

年末賞与(一時金)の決定状況 《最終集計》

・本協会が実施した年末賞与(一時金)の決定状況調査(最終集計)では、報告のあった84社の支給額平均は48万9,501円で、前年に比べ9,417円(1.96%)上回った。2年連続で前年を上回ったものの、増加幅は昨年(1万680円、2.30%)を下回り、平均支給額も3年連続で50万円を下回った。

・業種別では昨年大きく増加した製造業は前年比3,760円(0.70%)増加し2年連続で前年を上回った。最近3年間連続で前年を下回っていた非製造業も7,131円(1.67%)増加した。

[最終集計] 平成23年年末一時金取組状況

業種	社数	支給率 (ヶ月)	支給額 (円)
製造業計	45	2.06	537,834
(前年度)	46	2.01	534,074
化学	11	2.50	752,102
機械金属	7	1.78	459,059
食品	2	2.25	487,367
鉄鋼・非鉄金属	5	1.95	551,185
紙・パルプ	4		534,157
電機機器	6	1.79	487,031
その他	10	1.99	414,077
非製造業計	39	1.78	432,025
(前年度)	47	1.83	424,894
運輸・通信	14	1.71	413,785
金融	3	1.99	—
卸・小売	9	1.63	405,161
土木・建設	5	1.32	360,046
その他	8	2.19	543,230
全平均	84	1.93	489,501
(前年度)	93	1.92	480,084

※(前年度)は平成22年度の最終集計数値。

※「—」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

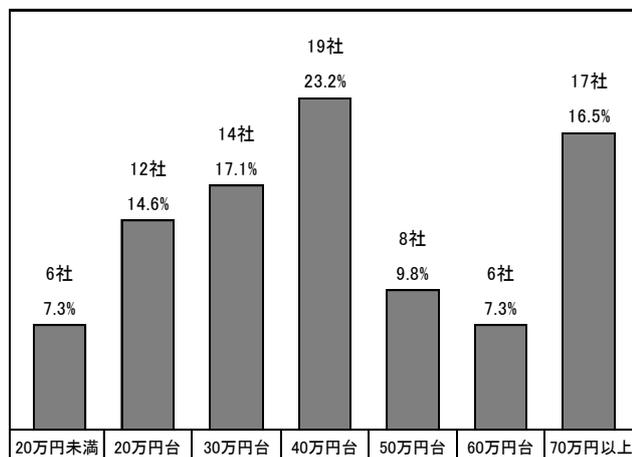
規模	社数	支給率 (ヶ月)	支給額 (円)
100人未満	34	1.77	411,326
(前年度)	42	1.81	407,615
100人～199人	24	1.89	470,363
(前年度)	25	1.91	473,821
200人～499人	10	2.02	522,578
(前年度)	11	2.02	534,632
500人以上	16	2.28	703,846
(前年度)	15	2.18	683,964

・規模別では、従業員500人以上で前年比19,882円(2.90%)増と全体の伸びを上回ったが、それ以下の規模の区分では100人未満でわずかに前年を上回ったほかは、前年割れとなり、中小企業の厳しさが表れた結果となった。

・支給額の分布では、40万円台が19社(23.2%)と最も多く、次いで70万円以上(17社、16.5%)、30万円台(14社、17.1%)、20万円台(12社、14.6%)の順となったが、70万円以上の企業17社のうち化学が7社を占めた。

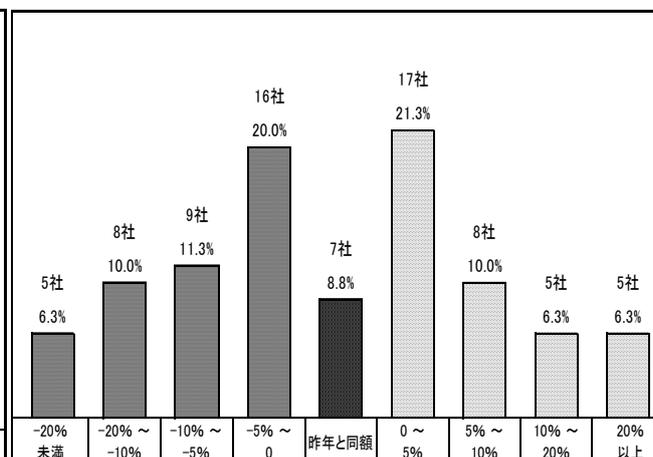
・前年度の支給額と比較可能な80社について増減率をみると、前年を上回った企業数(38社)と下回った企業数(35社)がほぼ拮抗した。

支給額の分布



※支給額を公表した82社の分布

増減率(対前年)の分布



※前年の支給額と比較可能な80社の分布